



# 古中だより「坂道」

くめざす生徒像>

- (知) 自ら学ぶ生徒
- (徳) 礼儀正しく思いやりのある生徒
- (体) 心身ともに健康な生徒

令和3年度 第28号

2月18日 発行

古殿町立古殿中学校  
校長 上野 康生

## ～ 「一閑張り」体験教室 ～

「一閑張り」と聞いても、ピンとこない保護者の皆様もいらっしゃるのではないかと思います。私もこの歳にして初めて聞いた言葉でした。「一閑張り」とは、日本の伝統工芸品である紙漆細工のことであり、和紙を張り重ねて製作し、強度が強くて軽いという特徴があります。一貫の重さにも耐えるほど丈夫なので「一貫張り」とも言われることもあるようです。

では、どうしてこの体験教室が行われたかということですが、昨年12月に行われた**古殿町中学生議会**において、**3年生が町の活性化やPRのために「一閑張り」の手法を用いた商品を作ってはどうかという提案**をしました。そうしたところ、岡部町長様が前向きにご検討くださり、石川町在住で「一貫張り」の工房を営んでいる斎藤悦子様を講師としてお招きし、まずは中学生に体験してもらおうということになったのです。本来であれば、提案した3年生に体験させたいところだったのですが、現在、高校入試や卒業に向けてやるべきことが多く、2年生を対象に実施することとしました。

はじめは慣れない作業に戸惑う生徒が多かったのですが、次第に要領を得て手際よく進め、中には友だちの分まで手伝う生徒も見られました。製作にはいくつかの工程があるため、2月16日(水)、17日(木)、22日(火)の3日間、計6時間程度を使って完成する予定です。どんな個性的な工芸品ができるのか、とても楽しみです。



集中して作業に取り組む生徒たち。



使用している和紙は大正時代のもので、大変丈夫なものだそうです。



講師の斎藤悦子様とその作品

来週は右の写真のような布を自由に切って貼り付け、最後に柿渋を塗って完成となります。



## ～ 新生徒会による初の生徒会総会 ～

2月10日(木)に後期生徒会総会が行われました。新生徒会役員による初の総会とあって、本部役員の方を中心に張り切って準備を進めてきたと思うのですが、新型コロナウイルス感染症予防のため、予定していた体育館での実施ではなく、放送による実施となりました。

総会では、生徒会本部役員、学級委員、専門委員会の委員長、部活動の部長が今年度の活動の反省や次年度への引き継ぎ事項などを発表しました。さらに会員からの質問や建設的な提案、そして、それらに対する答弁が行われ、**みんなの力で古中をよりよくしようとする姿**が見られました。

いよいよ、あと1ヵ月足らずで3年生が卒業します。3年生の意思を受け継ぐとともに、今回の生徒会総会で話し合った内容をもとに、**1、2年生が中心となって、これからの古中をしっかりと支えていくことを期待しています。**



## ～ 図書室の寄贈 ～

2月2日(水)に石川ロータリークラブ様より図書を寄贈いただきました。本当にありがとうございました。

インターネット等の普及により、生徒の読書量が減少していると言われて久しくありません。本校でも、昼休みに図書室を開放しているのですが、読書に訪れる生徒は多くはありません。

タブレットやスマホ等、画面を通して手軽に情報を得ることは便利なことですが、**本や新聞を時間をかけて読み、自分なりにじっくりと考えてみることは思考力や読解力を高める上でとても大切なことだ**と考えています。

今回、寄贈された図書は早速図書室に並んでいますので、ぜひ多くの生徒に読んでほしいと思います。



## ～ マスク、ハンドジェル等の寄贈 ～

2月17日(木)に石川ライオンズクラブ様より、マスク2000枚、ハンドジェル84本、フェイスシールド30個を寄贈いただきました。本当にありがとうございました。大切に使用させていただきます。

